

【提案シートの内容】	生徒からの質問	【質問に対する市長の考えなど】	担当課
<p>【一色町の強みを生かした活性化】 一色町には、「うなぎ」「えびせんべい」「カーネーション」などの自慢できる特産物があります。国内において、その生産量が上位を占めていることは、とても強みだと思えますが、「一色」という地名はまだ知られていません。観光面で見てみると、海に面した地形ですが、海水浴場など目玉となる観光資源が無いので、一色町を訪れる観光客やリピーターが少ない状況です。うなぎは、「一色産うなぎ」とブランド化されていますが、特に首都圏での知名度が高くありません。市総合計画（後期計画）の22ページには、地域ブランドについての課題や今後の取り組みが書いてありました。「うなぎ」は、外国人にとっても魅力的な食材であることから、海外でのプロモーションをしていく必要があると書いてあり、日本を訪れる外国人旅行者が増えている中で、今がチャンスだと思いました。また、一色町には伝統文化に触れる機会もあります。それは「三河一色大提灯まつり」です。400年以上の歴史を誇る伝統の祭りで、毎年多くの観光客が訪れています。自慢できる地域資源があるにもかかわらず、効果的な情報発信ができていないためか、観光客の集客も今一歩のように感じます。</p>	<p>【質問1】 一色町の強みを生かしたイベントとして、「三河一色みなとまつり」がありますが、今後も継続して開催しますか。内容の見直しはありますか。</p>	<p>【市長】 三河一色みなとまつりについて、今後止めるという話は聞いていません。継続して開催していただければありがたいと思います。みなとまつりは実行委員会形式をとっています。メンバーは、市職員の他、一色うなぎ漁業協同組合などの代表者やえびせんべい組合の代表者などです。最近の様子を見ると来場者数が少し伸び悩んでいるところがありますので、新しい取り組みを試みる時期と感じています。皆さんのような若い方が柔軟な発想でアイデアを提案していただければとても心強いです。学校を通じてご意見をお寄せいただいても大丈夫ですので、意見やアイデアをぜひ出してください。例えば、イベント当日にボランティアで皆さんがお力添えをいただけることでイベント全体が賑やかになると思います。</p>	<p>商工観光課</p>
<p>【提案1】 海岸沿いの立地条件を生かし、体験できる臨海型海のテーマパークや海をテーマにしたイベント、特産物を食べることができるグルメフェスなど、民間と協力して開催してはどうでしょうか。一色地内には使用していないウナギの養殖場などがあります。その土地の有効利用にもなります。そして、特産物を活用した集客率の高い「グルメフェス」の誘致もできるとより効果的だと思います。</p>	<p>【質問2】 一色中学校の北側には運送会社など会社がありますが、企業誘致の計画はありますか。</p>	<p>【市長】 工場が建設できる場所については規制があります。そのため、どこでも自由に建設できるわけではありません。一色中学校の北側には、榊原工業などがあると思いますが、規制が厳しく、建設許可が簡単にはおりない地域となっています。企業側も工場を建設する際、メリット、デメリットを考えるとと思いますが、海抜ゼロメートル地帯となると災害被害等を考え少し躊躇するところもあるかと思っています。そのため、現段階では、当該地域における企業誘致はハードルが高い状況です。</p>	<p>企業誘致課</p>
<p>【提案2】 仕事のために西尾市で暮らす外国人がとて増えていることを知りました。全国的に外国人旅行者が増えていることあるので、SNSを活用した情報発信や多言語化を進め、情報発信力を強化してはどうでしょうか。外国人が好きな体験型の施設を誘致することでリピーターが増えることを期待したいです。</p>	<p>【質問3】 体験型イベントとして潮干狩りは、外国人受けもいいと思います。しかし、ここ数年アサリが不漁と聞いています。現在、どのような対策をとっているか教えてください。</p>	<p>【市長】 アサリが不漁の原因のひとつと言われていることは、有害生物のウミグモが大量発生したことです。また、海がきれいになり過ぎてしまい、アサリのエサとなるプランクトンが発生しなくなってしまうこと、海中の酸素不足などが考えられています。現在、関係者が試行錯誤しながら回復に向けて取り組んでいただいています。具体的には、アサリの種苗を海に放流したり、海中のリン濃度を上げることでプランクトンが発生しやすい環境にしたり、有害生物のウミグモを継続的に駆除していただいています。関係者の皆さんが一生懸命回復のための対策は行っていますが、抜本的に改善するには時間がかかるものと思われます。市としても大きな課題と受け止めていますので関係機関と協力、連携を図り回復に努めます。</p>	<p>農林水産課</p>

【提案シートの内容】	生徒からの質問	【質問に対する市長の考えなど】	担当課
	<p>【質問4】 総合計画には、西尾の魅力のPR方法として、「SNSなどで西尾の魅力を発信する人を増やす」と書いてありますが、具体的にどんな方法で発信する人を増やしていくのか教えてください。</p>	<p>【市長】 SNSなどを通じたPR方法について、ひとつは、今年からフェイスブック「広報にしお」のアカウントページを作り、市のPRだけでなく、市政情報なども発信しています。他にはインスタグラム「にしおじかん」というアカウントと、「にしおイズム」というアカウントがあり、西尾の魅力を主に写真で伝える取り組みを始めました。SNSによる情報発信は、いかに多くの人にフォローしてもらうか、いかに情報が広く届くかということが一番大事だと思っています。市でも情報発信はしていきますが、西尾を好きと思う人たちや、西尾市民の一人ひとりが、自分たちのできる範囲で情報を発信していただくことが知名度を高める大きな力になります。若い世代の皆さんのつながりはとても魅力的です。友達間で拡散していただければありがたいと思います。行政と市民の皆さんとが力を合わせて西尾の魅力を発信し、西尾のファンを獲得できればと考えています。</p>	<p>秘書広報広聴課</p>